

めざす成果及び戦略 1-3 【犯罪や交通事故を防ぐまちづくり】

【現状と課題】

- ・特殊詐欺の手口が巧妙化、悪質化しています。
- ・街頭犯罪は増加傾向にあり、引き続き注意喚起が必要です。
- ・自転車関連の交通事故や放置自転車の減少に向けた取組を継続して行っています。
- ・特殊詐欺や街頭犯罪等の被害防止に向けて、地域の防犯意識の向上が必要です。
- ・子どもへの犯罪を未然に防止するため、周囲に対する啓発とともに、子ども自身の防犯意識を高める啓発を強化する必要があります。
- ・交通事故防止のため、特に自転車に関する交通ルールの遵守とマナー向上の啓発が必要です。

【中期的な取組の方向性】

事件・事故の被害にあわない、あわせないための意識向上に向け、地域や警察等関係機関と連携し、出前講座の実施や各種広報媒体を使った啓発など、区民の安全を守る取組を進めるとともに、時節、対象に応じた啓発を行います。

【アウトカム指標】(令和10年度までの目標)

区民アンケートで、区役所が警察等と連携して行う防犯・交通安全の各種取組を総合的にみて、街頭犯罪抑止や交通事故防止に役立っていると感じると回答した割合:80%以上

6年度(参考)	7年度	8年度	9年度	10年度
76.0%				

具体的取組1-3-1 防犯に関する取組

【現状と課題】

- ・特殊詐欺被害については、減少傾向ではありますが、手口が巧妙化・悪質化している状況です。
- ・街頭犯罪発生件数は、前年と比べ増加傾向です。また、自転車盗の占める割合が依然高い状況です。
- ・街頭犯罪や特殊詐欺事案の発生状況をふまえ、地域の防犯意識の向上が求められています。

【概要】

- ・地域安全対策職員による地域巡回、高齢者が特殊詐欺被害にあわないための防犯出前講座、園児や児童が被害にあわないための紙芝居等による啓発、防犯教室、みまもり活動を行います。
- ・各種イベントにおける「子ども110番の家」の啓発・募集や、小学校入学説明会にて啓発チラシの配布を行います。

【6予算】1,238,000円 【7予算】1,368,000円



【出前講座(学校・園)の様子】



【出前講座(地域住民)の様子】

主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
ひったくり防止カバー取付キャンペーン	22回	22回	
地域みまもり隊による地域住民・学校園を対象にした出前講座	12回	18回	
地域みまもり隊による通学路巡回・防犯パトロール	通年	通年	
「子ども110番の家」の周知・啓発	通年	通年	
広報紙やSNSを活用した防犯啓発の実施	通年	通年	
取組によりめざす目標(令和7年度の目標)		6年度実績	7年度実績
区民アンケートで、警察等と連携して行う防犯啓発活動等の取組が、区内の街頭犯罪抑止に役立っていると感じると回答した割合:70%以上		76.6%	

具体的取組1-3-2 交通安全に関する取組			
【現状と課題】 ・区内の交通事故発生件数のうち、自転車関連事故件数の割合は前年と比べ減少傾向ですが、全交通事故発生件数は増加しており、依然注意する必要があります。 ・自転車関連事故の発生状況等をふまえ、交通ルールの遵守・正しい交通マナーの実践・ヘルメット着用の啓発等を行う必要があります。 ・自転車運転中のながらスマホや飲酒運転等に関する啓発を行う必要があります。 【区政会議委員等の意見】 ・住みます芸人を活用したPRをしてはどうか。 ・外国籍の方に向けた交通ルールやマナーなどのチラシを配ったらどうか。 【概要】 ・児童を対象とした交通安全講習、地域住民、園児・児童を対象とした交通安全出前講座を行います。 ・電動キックボードや自転車利用者に対して、ながらスマホ禁止やヘルメット着用などルールの遵守・マナー向上に向けて、各キャンペーン等にてのぼり等を用いて啓発を実施します。 【6予算】 806,000円 【7予算】 556,000円			
			
【交通安全講習の様子】		【出前講座(学校・園)の様子】	
主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
「交通事故をなくす運動」阿倍野区推進本部による推進大会の実施	2回	2回	
阿倍野区身体障がい者団体協議会との街頭啓発活動の実施	2回	2回	
児童を対象とした交通安全講習の実施	11校	11校	
地域住民・園児、児童を対象とした交通安全出前講座の実施	15回	18回	
区内イベント、広報紙、SNSを活用した啓発の実施	通年	通年	
取組によりめざす目標(令和7年度の目標)		6年度実績	7年度実績
区民アンケートで、警察等と連携して実施する交通安全教育等の取組により、区民の交通ルール・マナーに関する意識及び理解が向上したと感じると回答した割合:70%以上		71.0%	

具体的取組1-3-3 放置自転車に関する取組			
【現状と課題】 ・区内各駅における自転車撤去台数については、前年に比べ増加傾向です。 ・安全な歩行空間の確保のため、放置自転車の減少に向け、地域とともに啓発活動等を継続的に実施する必要があります。 【概要】 ・Osaka Metro昭和町駅(文の里駅含む)及び西田辺駅自転車利用適正化検討委員会、ゆめまちロードOSAKAあべのなどの取組により安全な歩行空間の確保のため、放置自転車の減少に向けた啓発活動を実施します。 【6予算】 67,000円 【7予算】 73,000円			
			
【放置自転車啓発の様子】		【児童絵画壁画シートの様子】	
主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
ゆめまちロードOSAKAあべの官民協働会議の開催及び啓発活動の実施	2回	2回	
Osaka Metro昭和町駅(文の里駅含む)・西田辺駅周辺における啓発活動の実施	10回	10回以上	
Osaka Metro昭和町駅(文の里駅含む)・西田辺駅周辺自転車適正化検討委員会の開催	2回	2回	
広報紙やSNSを活用した啓発の実施	通年	通年	
取組によりめざす目標(令和7年度の目標)		6年度実績	7年度実績
区民アンケートで、区内の駅周辺(放置自転車禁止区域内)における駐輪場の場所を知っていると回答した割合:80%以上		88.6%	

めざす成果及び戦略 1-4 【魅力あふれるまちづくり】

【現状と課題】

- ・都市景観資源や「大阪市あきないグランプリ」入賞店舗など、区内の魅力的なスポットを「あべのdakara(宝)」として掲載した「あべのおさんぽmap」の発行や、HPなどを活用した情報発信を行っています。
- ・地域団体による魅力創出イベントなどが数多く開催されており、地域の活性化に関する取組が盛んに行われています。
- ・「阿倍野区が魅力あるまちである」と感じる区民の割合を高める必要があります。
- ・にぎわい創出に向け、区内外へ阿倍野区の魅力をさらにアピールすることが必要です。

【中期的な取組の方向性】

区内外から人が集い、にぎわいあふれるまちづくりを進めるため、区内にある都市景観資源等を「あべのdakara(宝)」※として積極的にアピールするなど、誰もが自慢したくなる魅力情報の発信に努めるとともに、区内全域の回遊性を高めます。
さらに、地域団体や企業等が主催するイベント等を支援し、地域と共にまちのにぎわいづくりに取り組めます。
※景観資源や商店街などの魅力資源、魅力あるお店や商品、区内外に誇れる企業などを、あべののお宝という意味を込めた「あべのdakara(宝)」と命名

【アウトカム指標】(令和10年度までの目標)

区民アンケートで、地域住民・企業等との協働によるにぎわいづくりの取組により「魅力あるまちとなっている」と感じると回答した割合：70%以上

6年度(参考)	7年度	8年度	9年度	10年度
55.0%				

具体的取組1-4-1 にぎわいのあるまちづくり

【現状と課題】

- ・都市景観資源や「大阪市あきないグランプリ」入賞店舗など、区内の魅力的なスポットを掲載した「あべのおさんぽmap」の発行やおさんぽmap外国語版(英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語)の発行、HPなどを活用した情報発信を行っています。また、区内においても地域団体による魅力創出イベントなどが数多く開催されているなど、区内の活性化に関する取組が盛んに行われています。
- ・都市景観資源等、多数の魅力的なスポットについて積極的にアピールし、にぎわい創出に向け、区内全域の回遊性を高める必要があります。また、2025年大阪・関西万博に向けて来訪者に広く発信する必要があります。
- ・地域団体・企業等の「あべの」の魅力発信イベント等との協働につなげ、にぎわいづくりに取り組む必要があります。

【区政会議委員等の意見】

- ・おさんぽmapに災害発生時の避難する場所がわかる防災マップのようなものも掲載してはどうか。

【概要】

- ・「あべのdakara」を紙媒体のマップ、デジタルマップ、「おさんぽmap」外国語版を活用し、区内外、来訪者へアピールします。
- ・2025年大阪・関西万博会場においても阿倍野区の魅力を発信するなど、万博を契機にさらににぎわいづくりに取り組んでいきます。

【6予算】 1,883,000円 【7予算】 3,614,000円

主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
「あべのdakara」デジタルマップのホームページ掲載	通年	通年	
「おさんぽmap」の発行	第4版発行	第5版発行	
地域団体・企業等によるイベント等の取組みの支援	通年	通年	
2025年大阪・関西万博会場でのPR	—	2回	
取組によりめざす目標(令和7年度の目標)		6年度実績	7年度実績
区民アンケートで、「あべのの魅力が十分発信できている」と思うと回答した割合：60%以上		51.4%	

